

令和2年6月18日

産婦人科医各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰  
母子保健担当理事 今井 一登

産科医療及び分娩に関する調査及び  
院内助産所及び助産師外来の設置状況調査について

神奈川県医師会を通じて、通知がまいりましたのでお知らせいたします。  
こちらは鎌倉市医師会HPにもアップロードしてありますので、ご確認ください。

神奈川県健康医療局保健医療部医療課長  
( 公 印 省 略 )

産科医療及び分娩に関する調査について (依頼)

本県の医療行政の推進につきましては、日頃格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
さて、産科など特定診療科の医師不足により、産科医療体制の確保が喫緊の課題となっている  
中、県では県内産科医療の状況把握に努めるとともに、対応策について検討を行っております。  
今後も、引き続き必要な方策について検討することとしておりますが、検討に当たって現状を  
把握するため、例年同様、標記調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙の中、大変恐縮ですが、別紙記載要領に基づき、別添調査票に貴施設の  
状況を御記入の上、令和2年6月30日(火)までに電子メールまたはファクシミリにより御回  
答くださいますよう御協力をお願いいたします。

※今回の調査は、令和元年度中に分娩を取り扱っていた施設を対象に御協力をお願いするもの  
です。調査結果の公表に際しては、個別の施設の回答内容が特定されることはありません。

問合せ先

医療整備グループ 齋藤

電話番号 (045)210-1111 内線 4875

ファクシミリ (045)210-8858

電子メール ouhuku-chiikiiryou@pref.kanagawa.jp

## 令和2年度産科医療及び分娩に関する調査記載要領

## 1 質問1について

- 「分娩を取り扱っている」とは、分娩予約を受け付けている、又は、分娩予約は受け付けていないが、既に予約済みの分娩を取り扱う予定がある場合に該当することとします。

## 2 質問2(1)について

## 「①産科病床数」「②医師数」「③助産師数」「④看護師数」

- 令和元年度の途中で分娩取扱いを開始した場合は平成31年4月1日現在の数値が、令和元年度の途中で分娩を取り止めた場合は令和2年4月1日現在の数値が、それぞれ「0」となります。
- 非常勤従業者数は、実人数と常勤換算人数を両方記載してください

## 【常勤換算の例】

常勤医師が週40時間勤務であり、非常勤医師が実人数で3人いて3人の合計勤務時間が週60時間である場合  
⇒ $60 \div 40 =$ 常勤換算人数1.5人

## 「②医師数」

- 専攻医（後期研修医）は、産婦人科専門医の取得を目的として、指導医の下、研修カリキュラムに基づき研修を受けている者（産婦人科専攻医）をいいます。
- 「専攻医（後期研修医）」の数、及び「うち当該年度の新規採用数」は、日本産科婦人科学会が認定する専攻医指導施設以外は回答不要です。

## 「⑤年間分娩件数」「⑥年間病床利用率」「⑦当直医師数」「⑧オンコール医師数」

- 「令和元年実績」について、令和元年の途中において分娩取扱いを開始又は取りやめた施設は、開始後又は取り止め前までの数値を記載してください。

## 「⑤年間分娩件数」

- 各年の総分娩件数を記載してください（年度ではなく、暦年で集計）。
- 件数は児の数で記載してください。（双子の場合は2件）
- 令和2年見込みについては、変動要素が見込まれない場合は令和元年実績と同数を記載してください。
- 「未受診妊婦の分娩件数」は、妊婦が自院・他院に関わらず定期的な妊婦健診を継続して受診しておらず、飛び込み出産、救急搬送等により医療機関が分娩を取り扱った場合の児の数を記載してください。

- 「帝王切開対応件数」には、「年間分娩件数」のうち、帝王切開術による分娩取扱い件数を記載してください。

「⑥年間病床利用率」

- 「年間病床利用率」は以下の式により算定してください。

$\frac{\text{月間在院患者数延数の1月～12月の合計}}{\text{(月間日数×月末産科病床数)の1月～12月の合計}} \times 100$
<p>※ 令和元年の途中で分娩の取扱いを開始又は取りやめた場合は、取り扱っていた期間で算定してください。</p> <p>※ 在院患者とは、24時現在に在院している患者をいいます。</p>

「⑦当直医師数」「⑧オンコール医師数」

- 1晩あたりに配置されている医師数を、年間平均で記載してください。

「⑨助産師の採用方式」

- 貴院の助産師の採用について、「看護師と一括採用」又は「看護師と別枠採用」のいずれかで御回答ください。

質問2(2)における語句

医局派遣(県内)…県内の大学医局に所属し、一応の期限を定められて派遣されている医師 ※ 県内にある分院からの派遣の場合も該当

医局派遣(県外)…県外の大学医局に所属し、一応の期限を定められて派遣されている医師

その他…既に大学医局を離れて、または医局には属するが期限を定めずに、貴院に就職されている医師

※ 県外大学出身でも既に大学を離れて貴院に就職された場合も該当

※ 注意事項

- (1)②「常勤」の令和2年4月1日現在の数値と(2)の「合計」と(3)の「合計」には同じ数字が入ります。
- 雇用主が医療従事者の場合、本人を忘れずに集計してください。

質問2(3)における語句

県内…「医局派遣(県内)」か、「その他」のいずれかに該当する医師  
 県外…「医局派遣(県外)」に該当する医師

※ 注意事項

- (1)②「常勤」の令和2年4月1日現在の数値と(2)の「合計」と(3)の「合計」には同じ数字が入ります。
- 雇用主が医療従事者の場合、本人を忘れずに集計してください。

### 3 質問3について

- 令和2年3月(1ヶ月間)の当直回数と実人数の内訳を記載してください。
- 土日連直をされた医師がいる場合は各項目1回ずつと計算をしてください。

### 4 質問9について

- 「正常分娩に係る標準的な費用」は、正常分娩において、入院から退院までにかかる標準的な費用(妊産婦及び新生児にかかる、任意に選択できる付加サービス費用を除いた一番低額の費用)を記載してください。

※ 産科医療補償制度掛金及び出生証明書に係る文書料も含めてください。

### 5 質問10について

- 助産所の嘱託制度では、分娩を取り扱う助産所の開設者は、産科及び小児科を有する「嘱託医療機関」と、産科の「嘱託医師」を定めることとなっていますが、この設問では「嘱託医療機関」についてお答えください。

※救急搬送件数については、年度ではなく、暦年で集計

### 6 その他

- 電子メールまたはFAXにて御回答の程お願いいたします。
- 電子メールで御回答いただく場合にはファイル名は「【貴医療機関名】産科分娩調査回答」として添付いただきますようお願いいたします。

#### 問合せ・回答先

神奈川県健康医療局保健医療部医療課

医療整備グループ 齋藤 宛て

電話 045-210-1111 内線 4875

ファクシミリ 045-210-8858 ※4月からFAX下4桁が変わっています。

E-MAIL ouhuku-chiikiiryoushou@pref.kanagawa.jp

## 令和2年度産科医療及び分娩に関する調査

※色付きの欄をご記入ください

医療機関名	
所在地	
記載者(職・氏名)	
電話番号	
電子メールアドレス	

(次回調査)電子メールで実施の可否↓

※県内の安定的な分娩提供体制に向けた重要な調査となります。ご協力をお願いします。

(調査票中、平成31年と令和元年は適宜読替えてください。)

質問1 分娩の取り扱い状況について伺います。

(1) 貴医療機関では令和2年4月1日現在、分娩を取り扱っていますか?

1. 分娩を取り扱っている。
2. 分娩を取り扱っていない。

回答欄

(2) 令和元年度中に分娩の取り扱いを開始又は取り止めた医療機関のみ伺います。

いつから分娩の取り扱いを開始又は取り止めていますか。

開始時期 令和(平成) 年 月

取り止め時期 令和(平成) 年 月

質問2 現在分娩を取り扱っていない医療機関を含め、医療提供体制等について伺います。

(1) 産科病床数、産科に係る人員体制、分娩件数等について記載してください。

	平成31年4月1日現在	令和2年4月1日現在
①産科病床数		

		平成31年4月1日現在			令和2年4月1日現在		
		男性	女性	計	男性	女性	計
②医師数	常勤			0人			0人
	非常勤			0人			0人
	(常勤換算)			0人			0人
	専攻医 (後期研修医)			0人			0人
	うち当該年度の 新規採用数			0人			0人
③助産師数	常勤			0人			0人
	非常勤			0人			0人
	(常勤換算)			0人			0人
④看護師数	常勤			0人			0人
	非常勤			0人			0人
	(常勤換算)			0人			0人

	令和元年実績 H31.1.1~R1.12.31	令和2年見込み R2.1.1~R2.12.31
⑤年間分娩件数		
(⑤のうち死産件数)		—
(⑤のうち未受診妊婦の分娩件数)		—
(⑤のうち帝王切開対応件数)		
⑥年間病床利用率		
⑦当直医師数(1晩あたりの平均人数)		
⑧オンコール医師数(1晩あたりの平均人数)		
⑨助産師の採用方法		

(2) (1) ②のうち令和2年4月1日現在の常勤医師について、記載してください。

	男		女		計
	当直可能	当直不可	当直可能	当直不可	
合計	0人		0人		0人
医局派遣 (県内)…ア					0人
医局派遣 (県外)…イ					0人
その他 …ウ					0人

当直可能：当直対応が1日でも可能な医師

当直不可：当直対応が不可能な医師

ア：県内の大学医局に所属し、一応の期限を定められて派遣されている医師

イ：県外の大学医局に所属し、一応の期限を定められて派遣されている医師

※ 県内に分院があつて、分院からの派遣の場合は「ア」

ウ：大学医局を離れて、または医局には属するが期限を定めずに、貴院に就職されている医師

※ 県外大学出身でも既に大学を離れて貴院に就職された場合は「ウ」

(3) (2) で記載した「合計」について、年齢の内訳を記載してください。

	男				女			
	当直可能		当直不可		当直可能		当直不可	
	県内・ その他	県外	県内・ その他	県外	県内・ その他	県外	県内・ その他	県外
合計	0人				0人			
29歳以下								
30-34歳								
35-39歳								
40-44歳								
45-49歳								
50-54歳								
55-59歳								
60-64歳								
65-69歳								
70歳以上								

質問3 貴医療機関の当直体制について伺います。

令和2年3月(1ヶ月間)の当直日数を記載してください。

		常勤			非常勤		
		医局派遣 (県内)	医局派遣 (県外)	その他	医局派遣 (県内)	医局派遣 (県外)	医局 人事外
平・日	回数						
	実人数						
土曜日	回数						
	実人数						
日曜日 祝日	回数						
	実人数						

質問4 今後の貴医療機関の分娩の取り扱いについて伺います。

(1) 令和2年度中について

回答欄

1. 引き続き分娩を取り扱う予定である

2. 分娩は取り扱うが、件数を減らす予定である

(令和 年 月から、現在の月約 件を月 件程度に制限する)

3. 分娩の取り扱いをやめて妊婦健診のみ行う予定である ( 年 月から)

4. 分娩及び妊婦健診の取り扱いをやめる予定である ( 年 月から)

5. 現在、分娩の取扱いはやめているが、令和2年度中に再開したい

6. 現在、分娩の取扱いはやめており、再開の予定もない

7. その他→具体的に記載してください。

(2) (1) で2～6と回答した医療機関の方は、その理由を記載してください。

--

(3) 令和3年度は分娩を取り扱う予定ですか？

1. はい
2. いいえ
3. 未定

回答欄

--

質問5 質問4 (1) で1～4と回答した医療機関の方に伺います。  
貴医療機関で必要と考える、産科に係る人員体制を記載してください。

		必要人員数
②医師数	常勤	
	非常勤	実人数
		(常勤換算)
③助産師数	常勤	
	非常勤	実人数
		(常勤換算)
④看護師数	常勤	
	非常勤	実人数
		(常勤換算)

※現人員との差ではなく、必要な人員数そのものを御回答ください。

質問6 貴医療機関で雇用している医師の確保について伺います。  
持続的に医師を確保する上で、懸念する点に「○」を記載してください。  
また、持続的に医師を確保する上で、地域全体で行うべきと考えられることがありましたら、ご記入ください。

1 常勤医について

(1) 医師確保において懸念している点 (複数回答可)

1. 定員の増員に対し、自院からの理解が得られない
2. 勤務形態に制限のある医師が多い
3. 医局員の数が減ってきている
4. 引き上げの可能性がある
5. 産前産後休暇及び育児休暇に関すること
6. その他( )

医局派遣	その他

(2) 持続的に医師を確保する上で行うべきと考えられること

--

2. 非常勤医の確保において懸念している点

(1) 医師確保において懸念している点

--

(2) 持続的に医師を確保する上で行うべきと考えられること

--

質問7 現時点における医師の勤務環境改善の取組みについて伺います。  
貴医療機関では医療機関独自の取組みとして以下の取組みを実施していますか。  
実施しているものに「○」を記載してください。

1. 医師事務作業補助者の配置
2. 当直の免除
3. 当直明け勤務の免除
4. オンコールの免除
5. 休暇取得への配慮
6. 短時間勤務制（育児・介護等により勤務時間を短縮・ワーキング等）
7. 変則勤務制（フレックスタイム制）
8. 交代勤務制（看護師のような2・3交代制、日勤・宿直制）
9. 院内保育所の設置
10. 院内学童保育所の設置
11. その他→具体的に記載してください。

回答欄


質問8 【病院のみお答えください】現時点の医療連携について伺います。

(1) 貴院では、病院と診療所との連携のもとに分娩を取り扱うシステム（産科（セミ）オープンシステム）を実施していますか？

1. はい
2. いいえ
3. 検討中

回答欄

--

(2) 貴院が実施している（セミ）オープンシステムに参加している診療所は何施設ありますか？

回答欄

--

質問9 分娩手当等支給制度について伺います。

※この項目については、集計結果を厚生労働省に報告させていただく場合がありますのでご了承ください。

(1) 貴医療機関では、分娩を取り扱った医師又は助産師に対し、分娩手当等を支給する制度はありますか。

1. ある（医師・助産師） 該当を選択してください→
2. ない
3. 設置予定（ 年 月頃から）
4. 検討中

回答欄

--	--

(2) 貴医療機関における正常分娩に係る標準的な費用をご記入ください。

--

質問10 助産所の嘱託制度についてお伺いします。

貴医療機関が嘱託医療機関となっている助産所はありますか。  
ある場合は、助産所名とその助産所から妊産婦又は新生児が救急搬送された令和元年の件数を記載してください。

助産所名	令和元年救急搬送件数

質問11 地域の産科医療や産科医を取り巻く状況についてお気づきの点などがございましたら、自由にお書きください。

--

<回答方法>

○電子メールまたはファクシミリでご回答くださいますようお願いいたします。

<調査票ファイル掲載場所（神奈川県ホームページ）>

ホーム > 健康・福祉・子育て > 医療 > 医療機関・薬局情報 > かながわの医師確保対策  
URL: <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/sankairyuu-bunben-chousa-r2.html>

<回答先>

○神奈川県健康医療局保健医療部医療課

医療整備グループ 齋藤 宛て

ファックス番号 : 045-210-8858

電子メールアドレス: ouhuku-chiikiiryuu@pref.kanagawa.jp

医第 120-2 号  
令和 2 年 5 月 29 日

公益社団法人神奈川県医師会 会長 殿  
公益社団法人神奈川県病院協会 会長 殿  
一般社団法人神奈川県産科婦人科医会 会長 殿

神奈川県健康医療局保健医療部医療課長

院内助産所及び助産師外来の設置状況調査について（依頼）

本県の医療行政の推進につきましては、日頃格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、県民が安心して子どもを産み育てることのできる環境を確保するために、周  
崎医療における課題解決に向けて取り組んでいるところです。

そうした中、周産期医療体制の整備の基礎資料とするため、本県の院内助産所及び助産師外来  
の導入状況について、継続的に現状を把握したいと考えております。

つきましては、標記調査を別添調査票により実施することといたしましたので、予めご承知い  
ただくとともにご協力をお願い申し上げます。

また、各施設への調査票の発送については、令和 2 年 6 月 1 日（火）であることを申し添えま  
す。

※今回の調査は、令和元年度中に分娩を取り扱っていた施設のうち病院を対象にご協力をお願  
いするものです。調査結果の公表に際しては、個別の施設の回答内容が特定されることはあ  
りません。

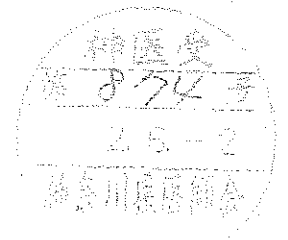
問合せ先

医療整備グループ 齋藤

電話番号 045-210-1111 内線 4875

ファクシミリ 045-210-8858

電子メール ouhuku-chiikiiryoku@pref.kanagawa.jp



医第120-1号  
令和2年5月29日

関係医療機関管理者 殿

神奈川県健康医療局保健医療部医療課長  
(公印省略)

院内助産所・助産師外来の設置状況調査について (依頼)

本県の医療行政の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、県民が安心して子どもを産み育てることのできる環境を確保するために、周産期医療における課題解決に向けて取り組んでいるところです。

そうした中、周産期医療体制の整備の基礎資料とするため、本県の院内助産所及び助産師外来の導入状況について、継続的に現状を把握したいと考えております。

つきましては、ご多忙の中、大変恐縮ですが、別紙調査票により、貴院の院内助産所・助産師外来の設置状況について令和2年6月30日(火)までにファクシミリまたは電子メールにて御回答くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、院内助産所・助産師外来を設置していない場合につきましても、大変お手数ですが調査票にて御回答いただくか、担当までお電話等にて御連絡くださいますようお願いいたします。

問合せ先

医療整備グループ 齋藤

電話 (045)210-1111 内線4875

ファクシミリ (045)210-8858

電子メール ouhuku-chiikiiryoushou@pref.kanagawa.jp

## 院内助産所・助産師外来の設置状況調査 記載要領

### 1 目的

- 県内の分娩取扱施設の減少に伴い、妊産婦が分娩施設を見つけることが困難をきたしていることなどを踏まえ、県内の院内助産所(※1)及び助産師外来(※2)の導入状況について把握を行い、今後の検討の基礎資料とする。

※1 院内助産所…緊急時の対応ができる病院において、正常経過の妊産婦のケア及び助産を助産師が自立して行うもの

※2 助産師外来…病院において、外来で、正常経過の妊産婦の健康診査と保健指導を助産師が自立して行うもの

### 2 調査対象機関

- 令和元年度中に分娩を取り扱っている県内の病院

### 3 回答期日

- 令和2年6月30日(火)

### 4 調査項目

#### (1) 「1 院内助産所」

※ 院内助産所を設置していない場合、設置状況に×をつけ、以降本項目については回答不要です。

#### ア 設置状況

- 令和2年4月1日現在、院内助産所を設置している場合、「○」を御記入の上、「分娩件数」及び「助産師数」について、御回答ください。

#### イ 分娩件数

- 平成31年1月～令和1年12月の1年間の分娩取扱件数を御記入ください。
- その際、「H31.1.1～R1.12.31の分娩取扱件数」には病院で取扱った分娩件数の総数を、「院内助産所」には院内助産所で取扱った分娩件数を御記入ください。

※ 「院内助産所」に記入する件数は「病院全体」の件数の内数となります。

※ 院内助産所で取扱っていない分娩は、「病院全体」のみにカウントし、「院内助産所」の件数には含まないでください。

#### ウ 助産師数

- 院内助産所に従事している助産師数について御記入ください。

専任…専ら院内助産所に従事している助産師

兼任…他の業務と院内助産所での業務を兼ねている助産師

(2) 「2 助産師外来」

※ 助産師外来を設置していない場合、設置状況に×をつけ、以降本項目については回答不要です。

ア 設置状況

- 令和2年4月1日現在、助産師外来を設置している場合、「○」を御記入の上で、「外来者数」及び「助産師数」について、御回答ください。

イ 外来者数

- 平成31年1月～令和元年12月の1年間の外来者数の実数(延べ数)を御記入ください。
- その際、「H31.1.1～R1.12.31の産科外来者数(延べ数)」には病院の産科全体の外来者の総数を、「助産師外来」には助産師外来に該当する件数を御記入ください。
  - ※ 「助産師外来」に記入する件数は「病院全体」の件数の内数となります。
  - ※ 助産師外来に相当しない健康診査及び保健指導は、「病院全体」のみにカウントし、「助産師外来」の件数には含まないでください。

ウ 助産師数

- 助産師外来に従事している助産師数について御記入ください。

専任…専ら助産師外来に従事している助産師

兼任…他の業務と助産師外来での業務を兼ねている助産師

フアクシミリ：045-210-8858 ※4月からFAXの下4桁が変わっています

神奈川県健康医療局保健医療部医療課

医療整備グループ 齋藤 宛

電子メール：ouhuku-chiikiiryou@pref.kanagawa.jp

病院名：  
担当課：  
連絡先：

ご担当：

### 院内助産所・助産師外来設置状況に関する調査 調査票

#### 1 院内助産所

設置状況 (R2.4.1)	H31.1/1～R1.12/31の分娩取扱い件数 うち院内助産所での件数	助産師数
		専任
		兼任

設置している場合は○、設置していない場合は×を記入 ※設置していない場合、右欄は回答不要

専ら院内助産所に従事している助産師

他の業務と院内助産所での業務を兼ねている助産師

○院内助産所…緊急時の対応ができる病院において、正常経過の妊産婦のケア及び助産を助産師が自立して行うもの

#### 2 助産師外来

設置状況 (R2.4.1)	H31.1/1～R1.12/31の産科外来者数(延べ数) うち助産師外来	助産師数
		専任
		兼任

設置している場合は○、設置していない場合は×を記入 ※設置していない場合、右欄は回答不要

専ら助産師外来に従事している助産師

他の業務と助産師外来での業務を兼ねている助産師

○助産師外来…病院において、外来で、正常経過の妊産婦の健康診査と保健指導を助産師が自立して行うもの